

## みやぎ移住・定住推進県民会議 行動宣言

日本は「人口減少時代」に突入しています。地方から首都圏への転出超過も続いており、地方の人口減少のスピードは、今後一層加速化していくと予想されています。

宮城県は、平成15年の237万人をピークに人口減少県に転じており、特に沿岸部においては、東日本大震災の影響で人口が大幅に減少しています。生産年齢人口の減少は、労働力や地域コミュニティの担い手の不足、社会保障費・税を負担する世代の減少など、私たちの生活に多岐にわたる影響を及ぼします。

今後東日本大震災からの復興を成し遂げ、全ての県民が県内のあらゆる地域において、幸福を実感し、安心して暮らせる社会を実現するためには、この地に生きる私たちが、その一人ひとりの取組が次の世代に受け継がれていくことをしっかりと自覚し、将来を見据えた一歩を踏み出すことが大切です。

私たちは、「地域資源を最大限活用した、持続可能で安全・安心な社会の実現」を目指して、県民がふるさとに愛着を持って暮らし続けられるよう、また、たくさんの県外の方が安心してみやぎに移住・定住できるよう、それぞれの立場で、次の取組を進めることを宣言します。

- 1 地域産業の高付加価値化や創業しやすい環境づくりにより、質の高い雇用機会を生み出し、みやぎでの就職や就業を応援します
- 2 地域全体で結婚・出産・子育てを応援する環境をつくり、子育て世代に優しいみやぎを目指します
- 3 地域の担い手となる人材・地域で仕事を創る人材を受け入れる実績を積み重ねるとともに、女性の視点も大切にしたコミュニティ形成により、移住者に安心して定住・定着してもらえる地域づくりを目指します
- 4 豊かな自然や歴史といった観光資源、多彩な食材をはじめ、地域の魅力を掘り起こし、磨き、発信し、移住先としての「宮城ブランド」の定着・向上を目指します
- 5 地域の仕事や住まいなど、移住希望者の求める情報を有機的に連携させて発信し、「ちようどいい、宮城県。」をアピールしていきます

平成28年2月1日

みやぎ移住・定住推進県民会議